

南 風

田 富 南 小 校 長 通 信
No. 15 11月24日(金)

もうすぐ12月です

例年、日々目まぐるしく過ぎていく感じがして仕方ないのですが、気が付けばすでに11月も下旬になりました。10日(金)の「南小ふれあいデー」が終わった翌週から急に寒くなり、いきなり冬がやってきたような感じがしてしまいます。11月は旧暦では「霜月」(霜が降る月)ですが、そのほか調べてみると、時候でいうと雪待月ゆきまちづきであったり、神帰月かみかえりつきや向寒とあります。(ほかにもたくさんありますが。)いずれにしても、「寒さ厳しくなる候」ということでしょう。もうすぐ12月(師走しわす)がやってきます。

1年生	クリスマスリース作り
2年生	音読劇発表会
3年生	生き物についてスライド発表
4年生	タブレットでの信玄堤についての発表
5年生	お米収穫祭・試食会
6年生	修学旅行で心に残った場所を伝える

さて、田富南小学校ですが、11月10日(金)の午後に田富南小学校「ふれあいデー」を行いました。コロナウィルス感染症が蔓延する前には「南小ふれあい祭り」としてバザーと一緒に各学年が作ったり仕入れた品物を売るなどしたり、保護者の方々が豚汁を作ってくれたりなど、大きな規模で行っていましたが、コロナウィ

ルス感染症の蔓延まんえんによって一時中止となりました。しかし、今年度コロナウィルス感染症が5類になったこともあり、いよいよ再スタートすることになりました。ただし、コロナだけでなくインフルエンザの流行などがあることから、飲食は行わないことや、保護者や学校の授業などにあまり負担がかからないようにすることなどを考え、保護者の方たちも参加できる地域への公開授業を行う他、講演会やバザーを行うことをPTA 学校委員会で決定しました。その後講演会こうえんかいは他日に行うこととして、10日(金)に各学年の公開授業とバザーを行いました。授業もバザーも、たくさんの保護者や地域の方にもご参加いただきました。なお、バザーの品物については、保護者や地域の方から野菜や柿などを含め数多くの品物を出していただき、無事に終わることができました。(品物がどのくらい集まるのか心配していたのですが、当



日朝まで保護者の皆様からのご協力をいただき無事成功することができました。)ありがとうございました。

学ぶことの大切さ

秋という季節はよく「〇〇の秋」と言います。例えば「読書の秋」であったり「食欲の秋」であったりと。これは、日本の四季のうち秋という季節に万物の実りが豊かになることや、暑さが過ぎて、秋の夜長に静かに過ごすことができることからゆっくり読書をしたりする時間ができるということからなのですが、その他にも「学問の秋」ということも言われます。

学校では子どもたちが毎日元気に学んでいます。それだけではなく、先生方も学んでいます。特にここ数年、教育に関する変化が大きくなっています。例えばタブレットなどを使ったICT 機器を使用した授業の実施であったり、子どもたちが自分たちで学んでいくことを目指した授業づくりなど…。日々考え、授業準備を行いながら、授業を行っています。そこで、この秋には、授業力を向上させることを目的



として学級担任の先生方の授業を他の先生方に見てもらったり、時には外部から指導していただく講師の先生を招いて授業観察や研究授業を行っています。この秋にも同じように先生方の授業力アップのため、研究授業を行いました。

(10月31日 中澤先生の研究授業)

10月30日に中澤先生の研究授業が行われました。新しく教師となり、1年間の研修の集大成となる研究授業で算数の授業を行いました。電子黒板を使ったり、子どもたちにワークシートを配って分かりやすく、子どもたちが考えたり、考えを子どもたち同士で交換できる授業でした。

また、11月15日には4年生で大柴先生が同じく算数の授業を行いました。中澤先生の授業と同じように子どもたちが考えを交換したり、タブレットを使って意見の集約を行ったりしながらの学習を行いました。

3年生も4年生も自分たちの考えを出したり他の友達の考えを聞いたりしながら、学習していました。3年生・4年生以外でも学級担任の先生方の授業を他学年の先生方が見に行くことで、お互いに研修を行いました。



(11月15日大柴先生の授業)

